

福岡県医師会男女共同参画部会研修会

平成19年度

「地域医療等社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成
推進プログラム」

テーマ1:女性医師・看護師の臨床現場定着及び復帰支援

**女性医療人きらめきプロジェクト
—魅力ある職場での生涯現役をめざして—**

平成19年12月8日

取組の必要性

女性医師

2005年の医学部卒業生:7730人

医学部女子学生は年々増加

その比率>30%

2004年の医師数:25万人

女性医師:4万人、16%

女性医師の平均離職率:約10%

2015年推計必要医師数:28万人?

予定供給医師数:30万人

人口10万に対し医師数210人

米国では300人という州もある

今後10年内:

勤務医(17万人)の約半数:女性医師

一般的状況

看護師

2005年の看護師数:約130万人

(保健師、助産師、準看含む)

離職率:平均12%:約16万人

都市部:16%

地方:5-6%

2004年卒業看護学生数:16万人

入院基本料7対1取得のための

看護師配置による更なる需要増加

九州大学病院の状況

女性医師

表1	九州大学病院における女性医師の割合					
	教授	准教授	講師	助教	医員	研修医
医科 (女性/実数)	1/27	0/33	1/43	11/168	56/227	36/104
%	3.6	0	2.3	6.5	24.7	34.6
歯科 (女性/実数)	0/11	0/12	0/5	10/58	10/77	52/54
%	0	0	0	17.2	13.0	96.3

医員以上の女性医師は医科でわずか14%、歯科では12%

女性医師の多い診療科

小児外科	(4/10人,40%)	麻酔科・蘇生科	(9/23人,39.1%)
総合診療部	(4/12人,33.3%)	小児科	(6/18人,33.3%)
皮膚科	(4/13人,30.8%)	循環器内科	(4/16人,25%)
眼科	(5/22人,22.7%)	顎口腔外科	(4/18人,22.2%)
心療内科	(3/15人,20%)	呼吸器科	(3/15人,20%)
産婦人科	(3/17人,17.6%)		

既婚者:10人、子供がいる女性医師:4人

九州大学病院の状況

看護師

九州大学病院常勤看護師
830人中、
既婚者202人(24%)
子供がいる人:156人(19%)

表2 九州大学病院における看護師の離職等の状況

	平成16年度	平成17年度	平成18年度
辞職者/全看護師数	83/782	104/793	86/830
辞職率	11%	13%	10%
看護職を離職した数	45(54%)	67(64%)	56(65%)
離職率	6%	8%	7%
在職期間別の辞職状況			
勤続3年未満の辞職	33(40%)	33(32%)	38(44%)
勤続5～10年の辞職	29(35%)	37(36%)	25(29%)
定年による辞職	4(5%)	5(5%)	4(5%)
女性特有の離職理由	34(41%)	45(43%)	40(47%)
結婚・育児	24	30	29
夫の転勤、子供の受験	9	8	3
介護	1	7	8
看護職不適應による辞職	11(13%)	22(21%)	16(19%)

女性医師・看護師の離職を防ぐには？

九州大学病院の現状分析から

- 男性医療人を含む全ての医療関係者の過酷な労働環境の改善
- 性差に対する尊重が見える就労様式
- 研修医の初期臨床研修や新人看護師に対する研修制度の充実
- 学部学生に対する医療人としてのミッション教育

本取組でめざすもの

- ライフステージに応じた働きやすい職場環境を作る
- 女性医師や看護師の医療人としてのプロ意識の向上
- より良い医療を築き上げるために魅力ある職場
- 生涯現役をめざすことができる体制を構築する

本取組の具体策

- **女性医療人教育研究実践センターの新設**
- **埋もれた人材発掘のための医師会、看護協会と連携した活動**
- **女性医療人のライフステージに柔軟に対応した教育研修プログラムの提供**
- **女性医療人が働き続ける事ができるための一連の意識改革**
 - 医学部学生(医学科、保健学科)に対するジェンダー教育**
 - 医療人としてのミッション教育**
 - 男性医師を含めた医療人の意識改革**
- **働きやすい職場環境の構築の一環としてのステップアップ女性外来の設置**
 - 育児や介護をかかえた女性医師や看護師による外来診療と研修・研究の継続**



すべての医療人が働きやすい魅力ある職場環境の構築

女性医療人教育研究実践センターの機能

ITネットワークの構築: 情報交換の場、教材の配信

九州大学病院に新設する女性医療人教育研究実践センターに登録

九州大学病院関係者のみならず、医師会、看護協会と連携して広く募る

女性医療人ステップアップ外来の管理運営

女性医療人のライフステージに応じた教育研修プログラムの提供



女性医療人のライフステージに応じた教育研修プログラムの提供

初期研修プログラム:研修医と新人看護師を対象

研修医:九州大学病院臨床教育研修センター

看護師:看護部を中心としたフレックス制度の充実とe-learningを使った初期看護研修プログラムの配信

離職しないプログラム:フレックス勤務やワークシェアで働く女性医療人を対象

いずれフルタイムの就労形態に戻るための知識の継続を図る

専門職プログラム:キャリアアップのための資格をとるための支援

医師では専門医や学会認定医を、看護師では認定看護師

自宅学習継続プログラム:休職中の女性医師、看護師を対象

休職中も専門領域のトピックスや基礎知識をWebCTやVODで聴講

復職プログラム:職場復帰をするための女性医師、看護師を対象

実践的トレーニングを短期集中的に配信、関連診療科での研修

リフレッシュプログラム:管理的立場の女性医師、看護師を対象

医療現場を理解するためのリフレッシュ教育を配信する

学部学生における教育

—ジェンダー教育と専門的医療人としてのミッション教育—

医学科

アーリーエクスポージャープログラム

平成19年度全学教育科目に「女性学・男性学A」

さらに、医学の面から見たジェンダー学教育

4年次プログラム：性差医学の基礎的知識を教授

5-6年次プログラム：医療人としてのプロフェッショナリズム及びミッション教育

保健学科

4年次プログラム：リプロダクティブヘルス基礎理論のなかにジェンダー論

医療人としてのプロフェッショナリズム及びミッション教育

一人の医師や看護師を育成するために莫大な教育費と教員の労力

女性医療人の離職は社会全体の大きな損失

完全復帰までのステップアップ女性外来

女性特有の疾患を扱う女性外来の新設

育児などでフルタイムで働けない女性医療人が完全復帰をはたすまでの勤務

就労形態:ワークシェア、フレックス制

学習:復職にむけての教育プログラムの受講

研究支援:生物統計家、データマネージャ、スライドデザイナーによる研究支援

九州大学の女性研究者支援制度の利用

プロジェクトの組織構成・実施体制

